

全部床義歯補綴学

担当者	教授：樋口大輔、亀山敦史 准教授：洞澤功子 講師：吉田裕哉 非常勤講師：菅沼岳史
授業概要	3年次の全部床義歯補綴学、4年次の歯科補綴学実習、5年次の臨床講義、臨床実習で得られた知識の関連性について理解を深める。また専門的な補綴装置の適応・設計・手技について理解する。
教科書	市川哲雄ほか：「無菌顎補綴治療学（第4版）」（医歯薬出版） 細井紀雄ほか：「コンプリートデンチャーテクニク（第6版）」（医歯薬出版）
参考書	TECOM 出版：「歯科国試 ANSWER 2025 vol.10 歯科補綴学2」 山下秀一郎ほか編：「有床義歯補綴学」（永末書店） 山縣健佑・黒岩昭弘：「図説 無菌顎補綴学」（学建書院） 黒岩昭弘：「全部床義歯学サイドリーダー（第5版）」（学建書院） 森戸光彦ほか編：「老年歯科医学（第2版）」（医歯薬出版） 佐藤裕二ほか編：「よくわかる高齢者歯科学（第2版）」（永末書店）
フィードバック方法	・講義、実習内容の質問は、その講義を担当した教員に申し出ること。 ・必要に応じて学生イントラ、補講等で解説する。
注意事項	1. 科目としては全部床義歯補綴学であるが、歯科補綴学総論・部分床義歯補綴学・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学の内容を取り扱うことがあるのでスケジュールを確認すること。 2. 教科書は必ず最新版を確認すること。
準備学習時間 (予習・復習)	60分 予習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。(15分) 復習：講義中に指定した教科書の項目や写真を中心に講義内容を復習すること。(45分)
オフィスアワー	講義終了時から当日17:30まで 樋口大輔、吉田裕哉：本館4階東棟 歯科補綴学講座研究室 いずれも事前連絡、予約が望ましい。

【授業日程】

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	3月22日(金) 1時限	分野の重要事項1 歯科補綴学領域の総合講義概要と学習戦略 歯科補綴学領域の傾向と対策	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
2	3月22日(金) 2時限	分野の重要事項2 歯科補綴学領域 第117回歯科医師国家試験問題解説	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
3	4月1日(月) 3時限	全部床義歯補綴学1 全部床義歯の基礎知識 無菌顎の診察・検査・前処置 無菌顎口腔の解剖学的事項	無菌顎の病態を説明できる。 全部床義歯の構成要素について説明できる。 全部床義歯の製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。 全部床義歯の製作に際して必要な診察・検査・前処置を説明できる。 無菌顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。	吉田 裕哉
4	4月18日(木) 1時限	全部床義歯補綴学2 無菌顎の印象採得	無菌顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。 概形印象採得と精密印象採得を説明できる。 既製トレーと個人トレーの違いを説明できる。 筋圧形成の目的と関わる筋肉を説明できる。 印象材の種類と適応を説明できる。 研究用模型と作業用模型の製作法を説明できる。	吉田 裕哉

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
5	4月18日(木) 2時限	全部床義歯補綴学3 無歯顎の顎間関係記録 咬合器装着	咬合床の役割を説明できる。 リップサポートと仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 垂直的顎間関係の形態的、機能的な決定方法を説明できる。 水平的顎間関係の形態的、機能的決定方法を説明できる。 咬合床に記入する標示線を説明できる。 ゴシックアーチ描記法を説明できる。 作業用模型の咬合器への装着法について説明できる。	吉田 裕哉
6	6月19日(水) 3時限	歯科補綴学総論1 人体の正常構造と機能 下顎位・下顎運動 咬合	咬合に関連する顎口腔系の各構成要素について、その形態と機能を関連づけることができる。 顎関節と咬合の関係を説明できる。 補綴歯科治療に必要な基準点・平面についてその臨床的意義を関連づけることができる。 補綴歯科治療に必要な下顎位について説明できる。 下顎運動の特徴を説明できる。	菅沼 岳史
7	6月27日(木) 3時限	全部床義歯補綴学4 人工歯選択と排列の基本 全部床義歯の咬合 歯肉形成 ろう義歯試適	人工歯の種類と材質を説明できる。 基本的な顔型、SPA要素、標示線、大きさ、症例による人工歯選択を説明できる。 垂直被蓋と水平被蓋を説明できる。 基本的な前歯部人工歯排列方法を説明できる。 咬合様式の種類を列挙し、有歯顎と無歯顎の咬合様式の違い説明できる。 全部床義歯に付与する咬合様式を説明できる。 人工歯の形態的な分類を説明できる。 基本的な臼歯部人工歯排列方法を説明できる。 歯槽頂間線法則、ニュートラルゾーン、バウンドライン、調節彎曲を説明できる。 歯肉形成について説明できる。 ろう義歯試適の診査項目について説明できる。 発音に関連する解剖学的・生理学的事項を説明できる。	吉田 裕哉
8	7月23日(火) 1時限	全部床義歯補綴学5 埋没・重合 咬合器再装着・咬合調整 研磨	レジンの填入法ならびに重合法について説明できる。 各種フラスク埋没法について説明できる。 レジン重合後の作業用模型の咬合器再装着の意義について説明できる。 選択割合および自動割合の手順について説明できる。 義歯床研磨の目的を列挙し、その手順を説明できる。	吉田 裕哉
9	7月23日(火) 2時限	全部床義歯補綴学6 義歯の装着と患者指導	義歯装着時の診察・検査項目を列挙し、その手順を説明できる。 患者指導について説明できる。 義歯装着後の不快事項の原因とその対応を説明できる。	吉田 裕哉
10	9月3日(火) 1時限	接着歯科医学の基礎と臨床1	各種材料による接着手技の違いを理解できる。	樋口 大輔 亀山 敦史 洞澤 功子 吉田 裕哉
11	9月3日(火) 2時限	接着歯科医学の基礎と臨床2	各種材料による接着手技の違いを理解できる。	樋口 大輔 亀山 敦史 洞澤 功子 吉田 裕哉
12	10月3日(木) 3時限	臨床実地対策1 製作過程	製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。	吉田 裕哉
13	10月8日(火) 3時限	臨床実地対策2 製作過程	製作過程の概略を診療室と技工室に分けて説明できる。	吉田 裕哉

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
14	10月11日(金) 1時限	臨床実地対策3 臨床推論	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。 これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
15	10月11日(金) 2時限	臨床実地対策4 臨床推論	有床義歯の治療に必要な診察、検査、診断法を列挙し、説明できる。 これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
16	10月18日(金) 1時限	臨床実地対策5 全部床義歯の短期的予後	装着後の管理について説明できる。 義歯装着後、短期的に生じる生体と義歯の変化と対応について説明できる。	吉田 裕哉
17	10月18日(金) 2時限	臨床実地対策6 全部床義歯の長期的予後	装着後の管理について説明できる。 義歯装着後、短期的に生じる生体と義歯の変化と対応について説明できる。 粘膜調整・リラインの適応と手技について説明できる。	吉田 裕哉
18	12月10日(火) 1時限	弱点分野補強	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
19	12月12日(木) 3時限	弱点分野補強	これまで学習した項目についての知識を確実なものとし、問題解決能力を身につける。	吉田 裕哉
20	12月20日(金) 2時限	全部床義歯補綴学講義総括	これまでの講義内容を振り返り、重要事項を再確認することで総括する。	吉田 裕哉